

どじょうすくいで偉業達成!

八月十五日から十七日にかけて安来市民体育館で安来節全国優勝大会が開催され、深田英治さんが「踊」師範の部で三連覇の偉業を成し遂げられました。また、「踊」少年二段の部で藤原恵太さんが優勝の栄に輝きました。

この大会は、全国七か所の予選会を勝ち抜いた安来節保存会会員が、「唄」「絃」「鼓」「踊」「銭太鼓」の芸を競い、民謡安来節の日本一を決めるもの。仁多支部が属する出雲ブロック予選会は特にレベルが高く、予選会を勝ち抜くこと自体が難しい激戦区です。

深田英治さん（上阿井）

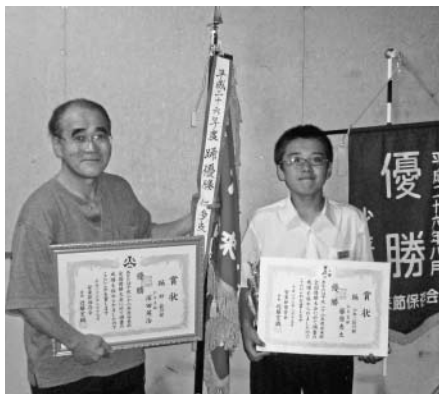
深田さんがどじょうすくいの「踊」を始めたのは平成十七年から。その年に「踊」二級の部に出場してから十年連続予選会を突破し全国大会に出場され、平成二十三年の準優勝以外はすべて優勝。そして今回、史上五人目となる師範の部三連覇の快挙となりました。

深田さんは「三連覇はプレッシャーも大きかったが、夢が達成できて嬉しい。今後も大師範の資格取得、さらにはその上を目指し頑張りたい。また、一人でも多くの子どもたちにどじょうすくいの楽

しさを伝えたい」と熱い思いを話されました。

藤原恵太さん（上阿井）

藤原さんは、四歳の時に幼稚園の行事で深田さんのどじょうすくいに会ってからすっかりファンになり、「深田さんごっこ」として踊りのまねをして遊んだり、深田さんのステージを見に行ったりしてどじょうすくいに親しんできました。六歳になる年から本格的に踊りを始め、その年に少年の部三級の試験に合格し全国大会に出場。それ以来毎年出場しています。藤原さんは、「深田さんを目標にこれからも頑張りたい」と話され、今後の活躍が一層期待されます。



▲優勝した深田さん(左)と藤原さん(右)

鳥根県ゲートボール選手権大会

布勢支部「コマンド」チームが準優勝

七月十九日から二十日にかけて出雲ドームで開催された第三十三回鳥根県ゲートボール選手権大会において、町ゲートボール協会布勢支部のコマンドチームが準優勝しました。

この大会には、県内から八十チームが参加し、奥出雲町からは亀高支部、馬木支部も参加しました。コマンドチームは、予選リーグを接戦の末突破し、初の決勝トーナメントに進出。負けたら終わりの決勝トーナメントでも一戦一戦勝ち上がり決勝戦の舞台へ。決勝戦は出雲市の神門旭チームに十三対十一で惜しくも敗れましたが、

初の準優勝の快挙に喜びもひとしおとなりました。

また、十一月十五日から出雲ドームで開催される中国大会の出場権を獲得。健闘を祈ります。



▲コマンドチームの皆さん

第四十九回

陰陽少年剣道大会

八月三十一日、町民体育館で陰陽少年剣道大会が開催されました。今大会には、県内外から約四百人（町内からは十二チーム、約八十人）の少年、少女の剣士が参加し、日頃の練習の成果を発揮しようと懸命に戦っていました。

大会の結果は次のとおりです。

個人の部

【小学校低学年男子】

準優勝 小川 亮馬

（鳥上剣道スポーツ少年団）

第三位 井上 響喜

（阿井地区剣道振興会）

団体の部

【中学校女子】

準優勝 仁多中学校

第三位 横田中学校

鳥上 横田 地区民体育大会

九月七日、鳥上、横田地区の運動会が開催されました。秋晴れの下、賑やかに競技が行われ、各会場とも大いに盛り上がりました。



▲心は一つ「大縄跳び」(鳥上)



▲味わっちゃダメ!「障害物リレー」(横田)

ソフトボールで交流

奥出雲町親善ソフトボール大会が八月三十一日、三成公園野球場で開催され、町内の自治会・小地区などで構成された十三チーム、約二百人が参加し、熱戦が繰り広げられました。

【結果】

優勝 川西チーム(上阿井)

準優勝 堀山根チーム(下阿井)

第三位 中村チーム(中村)



奥出雲だんだんフェスタ 三成愛宕祭

八月二日、JＲ出雲横田駅前ロタリーで「奥出雲だんだんフェスタ」が開催され、バンド演奏や歌、ダンスなど特設ステージで様々な催しが行われました。また、たくさんさんの屋台も出展され、会場は子どもから大人までたくさんの人で埋め尽くされました。

八月二十四日に行われた三成愛宕祭では、午前中からオーブニングとして子どもたちが太鼓演奏や子供御輿、吹奏楽演奏などを披露。夜からは、韓国の重要無形文化財に指定されている伝統芸能「イェジョン・コンチョ農謡」や阿南市阿波踊り一行など六団体による仁輪加パレードや神楽、歌謡ショーなどで夜遅くまで賑わいました。

今年も賑やかに



▲屋台の様子(だんだんフェスタ)



▲横田小学校金管バンド(だんだんフェスタ)



▲仁多御輿連(三成愛宕祭)